

令和5年度 大阪市立堀江中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

令和5年度 大阪市立堀江中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	英語	国語	数学	英語
3 年	学校	226	71	52	52	4.9	9.5	4.1
	大阪市	—	67	49	44	5.2	11.0	6.6
4月18日	全国	—	69.8	51.0	45.6	4.6	9.6	5.7

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3 年	学校	216	64.3	57.9	56.5	53.4	61.5	10.8	3.1	10.5	7.4	5.5
	大阪市	—	62.3	54.2	51.9	47.8	54.3	9.9	2.9	10.6	8.0	6.2
9月5日	大阪府	—	62.1	54.7	52.2	47.6	54.2	10.3	3.1	11.2	9.0	6.5
2 年	学校	—										
	大阪市	—										
	大阪府	—										
1 年	学校	—										
	大阪市	—										
	大阪府	—										

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※

※

※ 3年生の理科はC問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年 実施月日		生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】	聞くこと 【リスニング】	書くこと 【ライティング】	話すこと 【スピーキング】
			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3 年	学校	217	115.6	117.9	163.6	119.4
	大阪市	—	101.3	107.7	137.9	102.2

4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力 (kg)	上体 起こし (数)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトル ラン (回)	持久走 男子1500m 女子1000m (秒)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
2 年 男 子	232										
	学校	27.43	24.05	39.43	48.54	72.25		8.20	189.03	19.49	37.16
	大阪市	28.62	26.21	42.04	51.65	79.05		8.05	194.78	19.88	40.79
	全 国	29.02	25.82	44.16	51.22	78.07		8.01	197.02	20.40	41.32
2 年 女 子	学校	23.03	21.70	42.09	44.74	51.55		8.98	167.70	12.05	46.05
	大阪市	23.11	22.12	44.78	46.25	52.11		9.03	165.29	12.10	46.99
	全 国	23.15	21.62	46.27	45.65	50.70		8.95	166.34	12.43	47.22

令和5年度 大阪市立堀江中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

「大阪市英語力調査(GTEC)」結果の概要

英語力4技能を測定し、大阪市平均値との比較において、「読むこと」(+14.3)、「聞くこと」(+10.2)、「書くこと」(+25.7)、「話すこと」(+17.2)となり、すべての技能で大阪市を大きく上回った。
本校のCEFR A1レベル(いわゆる英検3級程度)相当以上の中学3年の割合は、71.4%であった。

＊成果と課題

【読むこと】

簡単な文章の大まかな流れを理解する力がついてきている。次は、具体的に情報のつながりを読み取る力をつけるようにしたい。

【聞くこと】

なじみのある表現において必要な情報を聞き取る力はある程度ついてきている。次は英文を聞いて「意味のまとまり」ごとに区切り、状況をイメージして全体の意味をとらえる力をつけていきたい。

【書くこと】

基本的な英文をつなげて短い文章を書く力がついてきている。次は文と文の意味のつながりを意識して、ある程度長い文章を書く力をつけるようにしたい。

【話すこと】

基本的な語や言い回しを使って、日常のやりとりにおいて単純に応答する力がついてきている。次は、より聞き手を意識しながら話す内容を増やし、複数の文で自分の考えを伝える力をつけていきたい。

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果の概要

男子において、8種目中全種目で、全国平均を下回り、体力合計点でも全国平均(－4.16)を下回った。
女子において、8種目中3種目のみ全国平均を上回った。体力合計点では、全国平均(－1.17)を下回った。

＊成果と課題

【男子】

体の柔軟性や筋力面、瞬発力や短・長距離に課題がある。また、運動が苦手であったり、運動やスポーツそのものに関心が持てていないということも影響している可能性もある。

【女子】

体の柔軟性や筋力面には課題があるが、瞬発力、長距離走は一定の成果が見受けられる。